

平和・観光行政及び国際交流について伺いたい。

市長 市民レベルの交流を基盤に観光、経済、文化、スポーツなど幅広い分野での交流人口の拡大を図っていききたい。平和の推進については、世界平和市長会議やNGO団体といった市民レベルでの連携を図りながら、今後とも取り組んでいきたい。

委員会審査の主な内容

各常任委員会及び議会運営委員会における主な議案の審査状況は、次のとおりです。

総務委員会

指定管理者選考審査委員会費など平成17年度一般会計補正予算(第1号)を可決

指定管理者の選考結果の公表方法などについて慎重に審査し、採決の結果賛成多数で原案を可決しました。

なお、指定管理者制度の本来の目的を追求しうる内容が希薄であり、適切な管理水準を確保しつつ、経費節減効果をどのように引き出すか、必ずしも十分な説明がなされていないことから、6名の委員から連名で附帯決議案が出され、採決の結果、附帯決議を付することを賛成多数で可決しました。

第126号議案「平成17年度長崎市一般会計補正予算(第1号)」のうち総務委員会に付託された部分に対する附帯決議(抄)

指定管理者制度の実施に当たっては、

次の事項について対処するよう要請するものである。

1 今後、他の先進事例にも学びつつ、公の施設の内容に応じて、施設の効用が最大限に発揮され、住民サービスの一層の向上に資するという観点における指定管理者制度の運用に十分配慮すること。

2 当該制度の運用に当たっては、指定管理者の選定手続きの透明性と選定結果についての説明責任を十分確保すること。

3 公の施設に関する指定管理者制度の適用の可否並びに適用施設に係る公募・非公募の選別の判断基準を明確化すること。

4 市職員が役員を務める団体は補助金が交付されていることもあり、民間活力を活用するという本制度の趣旨からは、指定管理者としての選定に当たっては十分留意すること。

厚生委員会

平成17年度一般会計補正予算(第1号)を可決

公の施設の指定管理者の指定を行うため、三重地区市民センターなど各種施設の管理委託にかかる債務負担行為が計上されていることから、過去の各施設における管理委託費の推移とその内容、今回の債務負担行為の金額に関する本市の考え方などについて、慎重に審査しました。

委員会では、今回、指定管理者制度導入により、民間の能力やノウハウを

幅広く活用することで市民サービスの向上を図るといった目的を広く追求している内容となっているのか疑問があることなどから、今後、他の先進事例にも学びつつ、その効用が最大限に発揮され、住民サービスの向上に資するという観点における同制度の運用に十分配慮してほしいなどの要望意見が出され、異議なく、原案を可決しました。

文教経済委員会

グラバー園条例の一部を改正する条例を可決

委員会では、グラバー園に指定管理者制度を導入し公募を行う考え方などについて慎重に審査しました。

その結果、観光事業は本市の基幹産業の一つであり、市の直営で観光客等への責任を果たすことが大切であるとの反対意見が出されたのであります。

一方、グラバー園の目的である観光振興、地域の活性化及び市民の福祉増進を達成してほしいこと、より一層の民間活力の導入や経済効果が公募によ



グラバー園

り期待されること、選考審査委員会において、施設の効用を最大限発揮することもに、管理経費の縮減等が図られるよう十分審議してほしいなどの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

建設水道委員会

長崎市営住宅条例の一部を改正する条例を可決

委員会では、今回指定管理者制度を導入する市営住宅の管理を地区を分割してではなく一括して一つの業者を指定する理由について慎重に審査しました。

その結果、指定管理者制度導入の目的が市民への新たなサービスの提供とコストの削減であるにもかかわらず、大きな期待は持てないこと、また、市営住宅を維持管理してきた都市整備公社職員の処遇については、十分配慮するべきであることなどの反対意見が出されました。

一方、大きなサービス、大きな経費の縮減という目的を忘れずに指定管理者制度を導入してほしいこと、募集要項については公募をかける前までに明確なものを作り上げ、提示してほしいことなどの賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

議会運営委員会

長崎市議会議場における「日の丸」掲揚に反対する請願についてを審査

本市議会議場において「日の丸」を掲揚しないで欲しいという趣旨の請願